

先生各位

5-FU 検査ご依頼に関するご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、先般ご案内いたしました「5-FU 検査」について、追記事項がございますのでご案内申し上げます。今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《検体の取扱いについて》

「5-FU」は、採血後も全血中では安定ではなく、DPD 酵素等による分解が進むとされています。採血後は速やかに遠心分離し、血球成分から分離してください。また、分離した血漿は凍結保存をしてください。

《溶血検体について》

溶血は「5-FU」を分解する影響があるとされており、測定試料として不適です。

《対象薬剤について》

本項目（コード：7675）の検査方法である「競合的免疫測定法」は、ウラシルとの交差反応を約 10%認めます（試薬添付文書より）。そのため、「ティーエスワン」、「ユーエフティ」など、血中ウラシル濃度の上昇を伴う薬剤を投与している検体は、測定試料として不適です。

血中ウラシル濃度の上昇を伴う薬剤を投与している検体については、GC/MS 法（コード：7477 <検査案内未掲載>）で測定が可能です。

詳細につきましては、治験営業担当者にお問い合わせください。【電話番号：0774-46-1224】